

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 1 2 回 橋本地区 T D M 推進委員会				
事務局 (担当課)		まちづくり計画部 交通政策課 電話 042-769-8249 (直通)				
開催日時		平成 2 8 年 3 月 3 日 (木) 1 0 時 0 0 分 ~ 1 1 時 3 0 分				
開催場所		緑区合同庁舎 3 階 会議室 3 - 2				
出席者	委員	6 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	6 人				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 . 開会 2 . 委員長、副委員長選出 3 . 議事 (1) 橋本地区 T D M 推進計画の進捗状況について (2) 橋本地区 T D M 施策の効果検証結果について (3) 今後の取組方針について (4) その他 4 . 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〇 は委員の発言、 △ は委員長の発言、 □ は事務局の発言)

1 . 開会

2 . 委員長、副委員長選出

事務局から委員長及び副委員長については、橋本地区TDM推進委員会設置要綱第3条第2項により委員の互選により選出する旨を説明。

互選により委員長に筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授の谷口委員を、副委員長に橋本地区自治会連合会会長の草野委員を選出した。

3 . 議事

(1) 橋本地区TDM施策の進捗状況について

事務局から資料2及び資料3、スライドを用いて説明を行った。

資料2で、今年度の対応状況は記載されているが、今後も続けて実施していく施策について分かるようにしたほうが良いのではないかと。

引き続きソフト施策で実施する必要があるものについて、個別の施策に対する標記がないため、後ほどの議事、今後の取組方針の中でご説明させていただきたい。

(2) 橋本地区TDM施策の効果検証結果について

事務局から資料4及びスライドを用いて説明を行い、質疑応答は特になし。

(3) 今後の取組方針について

事務局から資料5及びスライドを用いて説明を行った。

先ほどの議事で提案のあった施策ごとの今後の取組みについて、施策1、2は駅前のレイアウト変更に伴い完了とし、施策3、4、5、6、8、9、10、11、15、18、19は引き続き関係機関と協力し取組みを進めていくものとした。

また、施策7、12、13、14、16、17は、ハード整備や用地確保を伴うため、現時点での事業性が困難であることから、施策の考え方を広域交流拠点整備計画のまちづくりに引継いでいきたい。

今後のまちづくりの計画はリニアの方で進めている計画のことを指しているのか。そのとおり。

橋本駅は、南北の行き来がほとんどできず、永田屋のところをUターンするくらいのため、改善できないのか質問したところ、計画はあるがすぐには実施できないとのことであった。

リニア駅開業後など長期間でみた場合、渋滞などが問題になってくるのではないかと。今回答申される広域交流拠点整備計画では、まず相原高校付近に重点を置いており、渋滞長などが延びている橋本駅西通り線を含めた道路網についても位置付けされているものと承知している。

指摘のあった国道16号近辺については構造的に改良がかなり難しいため、時機等を勘案しながら進めていくことになるものと考えている。

南北道路の計画がないわけではないという解釈でよいか。

具体的な実施時期は明確にしていらないが、南北の交流も重要であると考えていることから、まずは自由通路など人の動きに係る部分から整備を始め、南北の交通ネットワークの形成については鉄道事業者とも今後協議をしていくものと考えている。

橋本地区TDM推進委員会の解散については理解したが、まちづくりを進めていく間も交通渋滞は発生するため、進捗に合わせ、橋本地区に特化した交通委員会を立ち上げるなど、課題を共有できる場の設置について検討願えればと考えるがどうか。

TDM推進計画自体をなくすものではなく、今後も継続して取組む施策については交通事業者や市民、警察と連携し実施していく必要があると認識しており、個別案件について、関係者と調整し対応したいと考えている。

また、進捗状況などについては、新たな委員会による管理ではなく市から情報提供していきたいと考えている。

今日の説明では紹介がなかったが、国道16号の橋本駅南入口交差点の地下道に新たに出入口が一つ設けられる予定であり、完成後は国道16号から駅に進入する車と歩行者の交錯がなくなり、安全性や利便性が向上する。

道路管理者としては、南口の工事関係は大体完了したものと考えており、これ以上の歩道拡幅や自転車道設置については、地権者の協力が必要となるため、用地拡幅は難しいものと考えている。

なお、送迎者が京王線の入口付近に駐停車しないよう、警察と協議し、ポール設置などの対策を講じたが、手前やバリアフリー乗降場で乗降するケースも多々見受けられる。

いずれにしても大事故は発生していないが、新しい計画が進むまでは関係者の意見を伺い対応してまいりたい。

(4) その他

事務局意見、質疑応答は特になし。

4. 閉会

以上

第12回 橋本地区TDM推進委員会 委員名簿

区 分	委 員			備 考
	所 属	役 職	氏 名	
学識経験者	筑波大学大学院 システム情報工学研究科	准教授	谷口 綾子	出 席
交通事業者	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部 計画課	課 長	永山 輝彦	出 席
	相模原タクシー施設会	理 事	森田 正紀	出 席
交通管理者	神奈川県相模原北警察署 交通課	課 長	牧野 末次	出 席
地 域	橋本地区自治会連合会	会 長	草野 寛	出 席
	橋本南口商店会			欠 席 (H27.2 未解散)
相模原市	都市建設局土木部 緑土木事務所	参事兼所長	佐久間 和彦	出 席

: 委員長

: 副委員長